

平成25年度 事業報告

1 平成25年度事業概観等

(1) 施設概要

- ①施設名 日本丸メモリアルパーク
- ②所在地 横浜市西区みなとみらい2-1-1
- ③対象施設等
 - ・帆船日本丸 総トン数 2, 278 t
 - ・横浜みなと博物館 7, 155. 31m²
 - ・研修施設 873m²
 - ・緑地 38, 100m²
 - ・その他 (タワー4棟)

(2) 施設管理者

- ①共同事業体 帆船日本丸記念財団・JTBコーポレートセールス共同 事業体
- ②代表団体 公益財団法人 帆船日本丸記念財団
- ③所在地 横浜市西区みなとみらい2-1-1
- ④代表者 金近 忠彦
- ⑤設立 昭和59年10月1日
- ⑥指定管理者期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日 (第2期)

(3) 事業概観

平成25年度は、帆船日本丸および横浜みなと博物館の来場者数183千人、日本丸メモリアルパークの来場者数1,200千人、教育普及事業244回、市内小学校の来場率60%を超え、いずれも横浜市との協約目標を達成することができました。

また、平成25年度は第2期指定管理の中間年にあたるため、横浜市の指定管理者選定評価委員会による第三者評価を受けました。この中で「長年のノウハウを活かして養成した多くのボランティアが活躍し、青少年の育成や海事思想の普及に大きく貢献する、継続的な取り組みが行われている」との評価をいただきました。

帆船日本丸保存事業では、建造から84年を迎える日本丸の船体全般の状況を把握するための詳細調査を実施しました。

横浜みなと博物館では、平成25年の秋に企画展として、「横浜港と関東大震災―震災から復興―」を開催し、多くのお客様から好評を得ました。

一方、コンプライアンスの推進として、職員一人ひとりが「コンプライアンスは事業運営の大前提である」との認識を新たにするため、コンプライアンス委員会の設置や全職員を対象にした研修などの取組を行いました。

2 帆船日本丸事業

平成25年度は年次船体整備の他に休館日を重点整備に充て、帆走艤装、消防設備、排水設備を中心に、さらに居住区等の公開区域の保守整備に努めてきました。また、海事思想の普及活動の一環として、日本丸を活用した市民参加型の事業展開を図り、市民の皆様へ日本丸の事業活動をより理解していただけるよう努めました。

(1) 保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行いました。また、船体全般における劣化状況を把握するため、帆船日本丸船体調査を実施しました。

○日常保守点検

- ① 観覧者通路・公開区域の安全点検整備
- ② 船内及び甲板清掃、船内真鍮磨き
- ③ マスト、ヤードその他帆装艤装の点検整備 等

○年次船体整備

「船舶安全法」に基づく検査を実施しました。

- ① 定期検査受検工事
- ② 木甲板一部新替
- ③ 船首隔壁補修工事 等

○災害防止

- ① 観覧者、総帆展帆協力者及び甲板整備協力者の安全の確保
- ② 船内防災センターにおいて火災、浸水等に備えて24時間体制で集中監視を実施

(2) 公開事業

船内を288日一般公開しました。日本丸乗船経験のあるガイドボランティアによる船内ガイドを毎日実施し、お客様のご意見を反映させることにより、サービスの向上に努めました。また、総帆展帆や満船飾を行うことで賑わいを創出し、帆船日本丸の魅力を多くの皆様にお伝えし、観覧者の誘致に努めました。



<総帆展帆>

(3) 青少年錬成事業

帆船日本丸は、青少年が船上訓練等を行うことにより海・船・港に関する知識を学ぶ教育施設であり、団体生活を行うことにより強い心と体を培う施設でもあります。帆船日本丸及び訓練センターを活用して、青少年錬成のための海洋教室を開催し、海事思想の普及を図りました。



<海洋教室>

3 横浜みなと博物館事業

平成25年度は、市民ボランティアとともに、展示案内や教育普及活動を通して、船や港、海に親しみ、関心を深めていただけるように、こどもから大人、ファミリーまでが興味をもって楽しんでいただける体験的なプログラムを行いました。

(1) 常設展示事業

常設展示をよりよく知り、楽しんでいただくために展示案内ボランティアによる展示案内、説明を毎日実施しました。また、良好な状態で見学できるよう日常の職員による点検・保守や不具合の修理、定期保守点検を行ったほか、25年度は常設展示品の耐震化工事を実施、安全対策に努めました。加えて、展示情報の更新を適宜実施しました。

(2) 特別展示事業

展覧会名	会期
① 「ヨーロッパと日本の歴史的乾ドック展」	平成25年 6月22日 ～ 7月 7日
「のぞいてみよう深海の不思議展3～相模湾の謎を探る～」	平成25年 7月13日 ～ 8月18日
② 企画展「横浜港と関東大震災―震災からの復興―」	平成25年 9月28日 ～11月17日
③ 「横浜港ゆかりの船物語―黒船からクルーズ客船まで―」	平成26年 2月15日 ～ 4月 6日



①



②



③客船秩父丸の1937年の
ディナーを展示 (レプリカ)

(3) 教育普及事業

25年度は新たに小学生向けに「船と港の夏休み自由研究」を実施しました。市内の小学高学年向けには、海と船に親しむ1年間のプログラムによる横浜みなとキッズクラブの実施、また、入館者向けに毎週土曜日はキッズのためのクイズラリー、教育活動ボランティアの協力で船の折り紙教室を、毎週日曜日と祝日にペーパークラフト教室を開催しました。

4 水辺の賑わい創出事業

日本丸メモリアルパークの内水域及び汽船道側静水域において、NPO横浜シーフレンズと連携しシーカヤック体験教室を開催し、インナーハーバーの賑わいを創出いたしました。

○シーカヤック体験教室等

平成25年度のシーカヤック教室は、こども教室の充実等により延べ76回の教室を開催し、1,753名の参加をいただきました。また、10月下旬には『第2回日本丸杯カヌーポロ』大会やスタンドアップパドル試乗会を実施いたしました。



<シーカヤック教室>

5 緑地管理及び研修施設事業

港湾緑地である日本丸メモリアルパーク内を公共施設としてふさわしい安全性を確保し、環境に配慮した維持管理を行うことができました。また、研修施設は、前年度実績を上回る利用件数となりました。

(1) 緑地の維持管理・活用

○安全管理・美化

劣化・老朽化している箇所を速やかに補修改善し、景観・保全、美化清掃を実施して、施設の環境の維持保全を図り、来園者が安全快適に過ごせる空間を提供致しました。

○撮影

休館日にもメモリアルパーク内緑地での撮影を可能とし、3つの撮影ゾーンを設定し、年間利用件数では46件となりました。

○催事

市民交流の場、リサイクル活動の場として、リサイクル運動市民の会と共催で年間13回のフリーマーケットを開催、音祭り2013や日中韓3か国交流事業を始めとする横浜市との連携イベントやさまざまなイベントで緑地を活用いただきました。



<フリーマーケット>



<音祭り 2013>



<日中韓3か国交流事業>

(2) 研修施設(訓練センター)の管理運営

立地条件のよさに加え、メールでのお申込みや回答を開始し、利用者の利便性向上を図り、年間利用件数1,624件となり、前年度比16%と伸ばすことができました。

6 広報プロモーション活動

(1) 旅行会社への営業活動

遠足などの学校団体や一般の団体旅行誘致のために、旅行会社向け割引施策を策定し、訪問営業やDMを実施しました。

- ・訪問営業：東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、北海道、福島県、宮城県等の主要旅行会社
- ・割引施策：高校生以上対象全国の旅行会社

小・中学生：青森県、岩手県、宮城県、福島県、山形県、新潟県、栃木県、
栃木県、群馬県、愛知県、三重県、岐阜県にある旅行会社

(2) 学校への訪問営業活動

- ・横浜市小学校：訪問営業を実施し来場率60%確保に貢献いたしました。
- ・神奈川県内小学校：訪問営業を強化し、有料団体の人数増に貢献いたしました。

(3) 学校へのDM活動

- ・北海道・東北・関東・中部を中心に学校への情報発信を実施しました。

(4) マスコミや近隣住民 近隣施設への営業活動

- ・掲載率UPを目的に訪問営業を強化しました。
- ・市民利用施設、ホテル、博物館などの諸施設への情報発信を行いました。
- ・夏休みの企画展では自由研究の素材として県内9教育委員会経由で小学校へ情報発信しました。



<3.11 YMM主備防災訓練>

(5) マスコミへの投げ込みを実施いたしました。

- ・市政記者発表に加え、FAXやメールを利用し、マスコミへの情報発信を行いました。

(6) 地域・他施設・青少年団体との連携・協力活動

- ・『アジア太平洋協力会議』『よこはま音まつり2014』『東アジア文化都市2014プレイベント』など国や横浜市が開催するイベントを誘致、実施いただきました。
- ・近隣の施設と連携しスタンプラリーなどを開催しました。

(7) 賑わい創出

ゴールデンウィークや夏休み、クリスマスや帆船日本丸進水記念日等では、親子やカップルが楽しめるイベントを企画・実施しました。



<吹奏楽演奏会>



<クリスマスナイト>



<進水記念日>

(8) 海と山と丘の公園交流事業

神奈川県立相模原公園、国営アルプスあづみの公園と連携をとり、各公園と協力しながら写真展の実施等を行いました。

7 その他

(1) コンプライアンスに関する取組状況

- 平成25年7月 1日 コンプライアンス委員会 設置
- 平成25年7月 4日 外部講師による「コンプライアンス研修」を実施
- 平成25年8月22日 コンプライアンス委員会 第1回 開催
- 平成26年3月20日 コンプライアンス委員会 第2回 開催

(2) アンケート調査報告 (モニタリング)

実施日 12月20日 (金) ~23日 (月祝) サンプル数 300

- | | | |
|------------|------------------|------|
| ① 総合満足度 | 大変満足+満足 | 98% |
| ② 場所 | わかりやすい | 94% |
| ③ 進水100年保存 | 賛成 | 98% |
| ④ HP内容 | 満足 | 39% |
| ⑤ 参加型体験 | サンデーペーパークラフト | 22% |
| (認知度) | シーカヤック教室 | 32% |
| ⑥ 係員の対応 | 満足度(総じて)良い | 90%超 |
| ⑦ サイン | トイレ、エレベーターわかりにくい | 5% |

課題と対応

サインについては、トイレ、エレベーターだけでなく、出口等の表示も床面に白テープで表示するなどの改善を行ったため、「わかりにくい」が、昨年の7.2%から5%に減少しました。

HPについては、HPの魅力がまだ十分に伝わっていないと考えられます。改めて「見やすく」、「わかりやすい」画面構成等の改善が必要と考えます。

また、今回のアンケートでは、12月という観光客が多い時期に実施したため、初めて来館された方が72%を占めており、その実施時期、質問構成等を見直していきたい。